



世界の裏側で、 日本をさげふ

外務省在チリ日本国大使館二等書記官

湯沢 華子

YUZAWA Hanako

平成16年 4月 総務省採用
情報通信政策局総務課
平成18年 8月 大臣官房総務課
平成19年 7月 情報通信政策局放送政策課
平成20年 7月 情報流通行政局放送政策課
平成22年 7月 情報流通行政局放送政策課事業振興係長
平成23年 7月 情報流通行政局総務課主査(日墨交換留学)
平成24年 9月 内閣法制局第三部参事官付
平成25年 12月 電気通信紛争処理委員会事務局調査専門官
(育児休業)
平成27年 4月 情報通信国際戦略局国際政策課主査
平成27年 8月 情報通信国際戦略局国際政策課北米係長
平成29年 7月 現職

■チリと日本って…

私は現在、在チリ日本国大使館において、情報通信分野を中心とした経済分野や日本企業支援業務に取り組んでいます。チリは日本と同様、地震や津波など自然災害の多い国で、チリで発生した津波が日本まで届いた、という話を聞いた方もいるのではないのでしょうか。日本とチリは防災分野の協力を行っており、チリにおいて日本の優れた技術を用いた防災分野の取組は非常に期待されています。総務省でも緊急警報システムなどの防災ICTの取組を進めており、大使館として、チリでの展開に向けた働きかけを行っています。

チリの大使館は本省と比べると小所帯です。しかし、だからこそ、経済分野以外の政治や文化といった分野も幅広く担当しています。昨年は日チリ外交関係樹立120周年として様々な記念行事の実施に携わりました。今年の3月にはTPP11の署名式も実施されるなど、大使館が一丸となって取り組む行事も数多くあり、総務省だけでは味わえない貴重な経験ができました。

■重要度の増す国際業務

総務省における国際関係業務は年々その重要度を増しています。情報通信分野は国内だけに留まらず、フィールドは国外へ広がっており、世界を俯瞰した仕事を行うことができるのが魅力です。総務省では、現在ICTの国際展開に力をいれており、日本企業と連携・協力して相手国政府・企業にオールジャパンとして働きかけを行っています。まだまだ新しい分野なので手探り状態ではありますが、その分やりがいはあると思います。

また、総務省は、働き方もパラエティに富んでいます。私は、1年間の産休・育休を取得後に職場復帰したのですが、復帰後はテレワーク制度も活用しながら、効率的な業務を心がけました。総務省職員である夫も同様に、育児休業を1年間取得しました。男性の長期の育児休業取得はまだ例が少ないですが、総務省では徐々に浸透しつつあると感じています。制度があっても活用されないのではなく、制度を活用できる土壌があることが総務省の魅力であると感じています。



Private Life

チリの名産と言えば「ワイン」。市内から車で1時間程度の範囲にはワイナリーが点在しており、週末に様々なワイナリーを訪問するのが楽しみです。ツアーに参加して伝統的なワイン蔵を見学したり、試飲をしたりするのも素晴らしいですが、広大なぶどう畑を持つ自然豊かなワイナリー内をのんびり散歩するのも、とても気持ち良いです。

Question & Answer

Q. 海外から見た総務省(日本)の印象は?

A. チリは、ブラジルやペルーほど日本人観光客や日系人が多くはありませんが、非常に親日国です。チリの若者からの日本の漫画・アニメの人気は高く、毎週様々な関連イベントが開催されています。また、ロボットなど科学技術分野でも日本の高い信頼性があります。日本から遠く離れたこの国で、日本の国としての魅力を、チリの人々の視点を通して改めて評価できることも、海外における貴重な経験だと思っています。

Q. 総務省の魅力はどのようなところ?

A. 所管業務が幅広く、国内外の様々なフィールドで活躍できるチャンスがあることが魅力のひとつだと思います。私は入省後、1年間のメキシコ留学を経験して、その後も国際関係業務に携わりました。そして今回、チリで外交官として働く機会に恵まれました。大使館は、各省庁からの出向者、つまり各分野のスペシャリストから構成されています。私も総務省からの出向者として、これまで培ってきた情報通信分野での経験を外交分野で活かしていきたいと考えています。